

NPO 法人日本医師事務作業補助者協会 北海道支部主催

## 第 10 回 実務者セミナー

苦手な人と関わるための<sup>秘</sup>コミュニケーション術

～医師事務がチーム医療の架け橋になる！～

活動報告

日時：2024年11月16日（土）13:00～16:30

（会員限定意見交換会 16:40～17:15）

開催方式：ハイブリッド方式 ZOOMによるオンライン配信

会場：北海道医師会館 8階ホール

参加者：ZOOM 57名 会場 5名

当支部世話人、くがはら内科クリニック院長 久我原  
明朗先生よりコーチングしていただきました。

人の行動特性は「コントローラー」、「プロモーター」、「ア  
ナライザー」、「サポーター」の4タイプに分類され、それぞ  
れの特徴や見分けポイントを教えていただきました。配布さ  
れた資料をもとにセルフワークを行いました。自分のタイプ  
が予想通りだった人もいれば、予想外だった人もおり面白  
い結果となりました。また相手のタイプを分析し、苦手な人と関わるコミュニケーション術も学  
びました。

一方的に話を聞くだけでなく、ワークやディスカッションを行い参加型だったため和やかな雰  
囲気でした。ディスカッションで話し合った結果を発表する時間もあり、参加者全体で情報  
共有でき久我原先生からもアドバイスをいただくことができたため良い機会となったのではない  
かと思います。

違うタイプだからこそ、お互いの強みを活かし助け合う。目標に向け力を合わせてやっていく  
ためには、まずは自分と相手を知ることが重要であると感じました。



アンケートでは、「4つのタイプがあることを知った」、「悩みを共有できた」、「他院の医師事務の方々と話す時間が多くてよかった」などの感想をいただきました。

セミナー終了後の会員限定意見交換会では、会場とZOOMに分かれて行いましたが、みなさん話が弾み盛り上がっていました。今後会員さんが増えていけば嬉しく思います。

コロナ禍から徐々に制限が緩和され、直接会場に来ていただける参加者も増えました。ZOOMであれば遠方の方もご参加いただくことができ交流を深めることができるため、ハイブリッド方式の良さを改めて感じました。

医師事務作業補助者は人と関わることが多いため、今回の<sup>秘</sup>コミュニケーション術を実務に活かしチーム医療の架け橋となっていきたいと思いました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



報告者：北海道支部 世話人  
札幌孝仁会記念病院 木村馨